

保証書

この度は当社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
この保証書は、保証期間中に故障が発生した場合には、下記の無料修理規定にしたがって無料修理を行うことをお約束するものです。
この製品が、万一保証期間内に故障した場合は、カスタマーサービスセンターにご連絡願います。

保証期間内に限り無料にて修理させていただきます。(ご返送の際に発生する送料はお客様のご負担となります。)

※修理を希望される場合、本書とポータブルバキュームマシンのお買い上げ証明(お買い上げ明細書、レシート、領収書など)の提示が必要となりますので、保証書とお買い上げ証明を大切に保管してください。

[品名:ポータブルバキュームマシン]

保証期間:ご購入日より1年間

お客様ご氏名: 様

ご購入日: 年 月 日

お客様ご住所:

お客様電話番号(購入時)

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明な点がありましたら、上記の当社カスタマーセンターにお問い合わせください。

無料修理規定

1. 取扱説明書・本体貼付ラベル等の注意書きにしたがった使用状態で故障した場合は、保証期間内に限り無料修理いたします。

2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。

(a)本書の提示がない場合

(b)お買い上げ明細書がない場合および本書の字句を書き替えられた場合。

(c)使用者の誤り、または不當な修理・改造による故障および損傷。

(d)お引き渡し後の輸送・落下・水濡れ等による故障および損傷。

(e)火災・公害・異常電圧および地震・落雷・風水害・その他の天変地異による故障および損傷。

(f)過酷な条件のもとで使用されて生じた故障および損傷。

(g)故障の原因が本機以外にある場合。

(h)付属品等の消耗品の交換。

(i)車両船舶などに搭載された生じた故障および損傷。

(j)一般家庭用以外の用途(業務用など)で生じた故障および損傷。

(k)取扱説明書に記載された「安全のご注意」を守られていない場合の故障。

3. 直接修理窓口へ送付した場合の送料等や出張修理を行った場合の出張料等は、お客様の負担となります。

4. 消耗品は保証対象外となります。

5. 本製品の故障に起因する付随的損害については責任を負いかねます。

6. 保証に関して不明な点がありましたら、当社カスタマーサービスセンターにお問い合わせください。

7. 本書は日本国内においてのみ有効です。

8. 本書は再発行しませんので大切に保管してください。



FoodSaver®

ポータブルバキュームマシン

FS1190 (2000038454)

FS1191 (2000038455)

取扱説明書



このたびは「ポータブルバキュームマシン」をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

- ご使用の前に、この取扱説明書をお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
- お客様の安全のため、必ず「安全にお使い頂くために」をお読みのうえで使用ください。
- 取扱説明書および保証書は大切に保管し、必要な時にご使用ください。

www.foodsaverjapan.com

安全にお使いいただくために

ポータブルバキュームマシンをご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みになり、注意事項・使用方法にしたがって安全に正しくご使用ください。

ケガや事故の原因になりますので、この取扱説明書に記載のない目的・方法では絶対に使用しないでください。

■絵表示について

表示内容を守らず、誤ったご使用をされたときに生じる危害や損害の程度を、下のような表示で区分して説明しています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

マーク は、してはいけない「禁止」の内容です。

マーク は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠ 警告「人が死亡又は重傷等を負う可能性が想定される」内容

| | |
|--------------------|--|
| 濡れ手 感電注意 禁止 | 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない ●濡れた手で電源プラグをコンセントに抜き差しつしたり、電源が入った状態の本体を触ったりしないでください。感電の恐れがあります。 |
| 取扱注意 プラグを抜く | 交流100Vの電圧で使用する ●本製品は交流100V以外での電源コンセントには使用しないでください。 延長コードは使用しないでください。タコ足配線はしないでください。 火災・感電の原因となります。 |
| 禁止 | 異常な状態では使用しない ●お子様やペットのそばでは使用しないでください。 ●本製品または他の部品を落としたり破損した場合には、使用しないでください。 ●本製品を異常な状態で使用しないでください。煙がでたり、異臭がするなど、異常な状態で使用すると、火災・感電の原因になります。 |
| 水濡れ禁止 感電注意 | 感電注意 水をかけたり、濡らしたりしない ●火災・感電・ケガを防ぐため、フードセーバーハンディー吸引機本体、充電ベース、電源プラグ、電源コードを水等の液体に浸けないでください。 |

| | |
|----------|---|
| 分解禁止 | 自分で分解・修理しない ●自分で分解、改造、修理する事は絶対にしないでください。 破損・故障・ケガ・事故の原因になります。 ●本製品、電源コード、プラグが破損しているとき、または正しく作動しないときは、巻末にご案内している連絡先に修理を依頼してください。 |
| 禁 止 | 記載のない目的・方法で使用しない ●この取扱説明書に記載のない目的、方法では絶対に使用しないでください。 ケガや事故の原因になります。 |
| 禁 止 | 専用パック、パックロールに熱いものを入れないでください。(充分冷ましてから入れてください) やけどの原因になります。 |

⚠ 注意「人が損害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される」内容

| | |
|--------------------|---|
| 取扱注意 プラグを抜く | 電源プラグを抜くときはコードを引っ張らない ●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って抜いてください。 ●お手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて冷ましてから行ってください。 |
| 取扱注意 | 水気の多いものそのまま脱気密封しないでください。 ●本体が液を吸い込み、故障の原因になります。 ●直使用直後は本体のシール部や袋のシール部は大変熱くなります。 ●使用中・使用後の取扱いには充分ご注意ください。やけどの恐れがあります。 |
| ほこりを取る | ほこりやゴミを取る ●電源プラグに付いたほこりやゴミは取り除いてください。 |
| 禁 止 | 水気、火気の近くに置かない ●台所の流し台、水気のある場所、油煙や湯気がある場所、湿気やほこりの多い所では使用しないでください。 ●本体・袋・専用バッグ・専用パックロールを火気の近くに置かないでください。火災の原因になります。 |
| 取扱注意 | 炊飯器使用の注意 ●圧力式の炊飯器では脱気密封したパックを使用する真空クッキングを行わないでください。 炊飯器内部が100°C以上になると、袋が破裂したり、炊飯器が故障する場合があります。 ●炊飯器を使用する場合は、炊飯器の説明書も併せてお読みください。 ●炊飯器を使用する真空クッキングはお客様ご自身の責任で調理してください。事故・破損について、当社は責任をおいかねます。 |
| 高温注意 | 電源コードの取り扱い注意 ●電源コードは、使用時に束ねないでください。 ●電源コードをテーブルやカウンター等の端などに引っかけたり、ドアにはさんだり、ねじったり、もつれさせたりしないでください。破損・故障・ケガの原因になります。 ●電源コードをコンロや暖房器具など高溫になるものに近づけないでください。電源コードの破損ややけどの原因になります。 ●電源コードを鋭利なものに触れさせないでください。 |

■ご使用上の注意

お客様の安全と火事、感電、又はケガ等を防ぐ為に、必ず基礎的な注意を払い、以下の事項もお守りください：

- 操作方法については、取扱説明書をしっかりとお読みください。
- 感電から身を守る為に、いかなる事があつても、フードセーバー本体、電源コード又はプラグを水又はその他の液体に浸けないでください。
- 本製品をお子様や障がいのある方が使用しないようにしてください。
- 本製品をお子様の付近でのご使用の場合、必ず大人の監視・監督の元、ご使用してください。本製品はおもちゃではありません。おもちゃとして遊ばないでください。
- 使用後、お掃除の際は電源コードをコンセントから抜いてください。本体が冷めていることを確認してから、お掃除や付属品の取り外しを行なってください。コンセントから電源プラグを抜く際、コードを引っ張らないでください。電源プラグを持って、コンセントから抜いてください。
- 電源コードが破損している場合、本体の異常、破損、または故障していると思われる場合、フードセーバーのご使用をおやめください。詳しくは下記に記載されているカスタマーサービスへご連絡頂き、修理・点検等をご相談ください。
- メーカー推奨のアクセサリー以外の付属品などを本製品と合わせて使用した場合、火事、感電、人体へのケガなどを引き起こす恐れがありますのでご使用にならないでください。
- 濡れている場所や野外でのご使用は絶対にしないでください。本製品は一般家庭で個人が使用する為に製造された製品です。業務用としての使用は絶対にしないでください。

- 電源コードがテーブルやカウンターの端から垂れた状態またはコンロや暖房器具など熱くなる表面に触れないようにしてください。
- 特にお子様が誤ってつまづく、引っかかる、引っぱる、絡まる又は製品が横転する等の事故が生じないよう、電源コードを注意して設置してください。
- 濡れている又は水気の多い場所、熱いオーブンやコンロなど火気又は熱源付近に本製品を置かないでください。必ず平らで安定した場所に本製品を設置してください。
- 熱い液体を含む容器やバッグの移動・密封する際の取り扱いには十分注意して行なってください。
- 電源コードは必ず本体へ先に接続してから、電源プラグをコンセントへ差し込んでください。(取り外し可能な電源コードがついている製品について)
- 本製品の使用目的以外の方法でのご使用はおやめください。
- 真空保存は熱処理される缶詰の代わりとなる保存方法ではありません。真空パックする事で鮮度を保ちますが、殺菌作用はありません。生鮮食品は、冷蔵庫・冷凍庫にて保存してください。

一般家庭用。

業務用としての使用は絶対にしないでください。
この取扱説明書は大事に保管してください。

電源コードの取り扱いについて：

特にお子様がつまづく、引っかかる、誤って引っ張ってしまうような事故を未然に防ぐため、長い電源コードはテーブル又はカウンターの上から垂らした状態で設置しないでください。

重要事項

1. 真空保存は熱処理される缶詰の代わりとなる保存方法ではありません。真空パックする事で鮮度を保ちますが、殺菌作用はありません。生鮮食品は、必ず冷蔵庫・冷凍庫にて保存してください。
2. 本製品は必ずフードセーバー®ジッパー・バッグと真空フレッシュボックス*と一緒にご利用ください。
3. 真空パック作業中、少量の液体、食品または食べかすが吸引キャップに吸い込まれると空気の漏れが生じる場合があります。この状況を防ぐのには以下の手順をお守りください：
 - a.スープ、ソースやその他液体：真空ボックスに入れ、冷蔵庫にて保管してください。絶対に液体をジッパー・バッグに入れて保存しないでください。
 - b.粉物や細かい食品：真空ボックス又はバッグにて保存してください。バッグにて保存の場合、入れすぎにご注意ください。また、吸引時に粉末の吸い上げを防ぐために、コーヒーフィルターまたはペーパータオルを食材の上・バルブの下に置き、吸引密封してください。
 - c.必ずジッパー付近に食べカスなどが付着、引っかかっていない事を確認し、しっかりと閉じて下さい。食材がジッパーに引っかかったまま閉じてしまうと、空気の漏れが生じ、時間と共に吸引密封効果が失われます。

フードセーバー®ジッパー・バッグと真空フレッシュボックスを使用の際、必ず吸引キャップを設置して本機を使用してください。フードセーバー®メイソンジャー・シール機、真空ボトルストッパー やキャニスターと一緒に使用の際は吸引キャップを取り外し、アクセサリーポートに接続してご利用ください。

4. 真空ボックスをご使用の際、必ず容器の上部から2.5センチ以上空けて中身を入れます。

はじめに

ポータブルバキュームマシーンをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

長年の間、フードセーバー[®]真空システムは何百万もの家庭の冷蔵庫、パントリーにある食材の無駄を防ぐのに手助けしてきました。フードセーバー[®]ハンディー真空システムと合わせて使用する為に特別設計されたフードセーバー[®]真空ジッパー・バッグと真空フレッシュボックスを真空状態にして空気の侵入を防ぎ、食材や身の回りの物を酸化・腐食・湿気から守るために利用いただけます。毎日使用できる、手軽でコンパクトなフードセーバー[®]真空システムです。

■もくじ

| | |
|----------------|-------|
| 安全にお使いいただくために | 1-2 |
| ご使用上の注意 | 3-4 |
| 重要事項 | 5-6 |
| はじめに | 7 |
| 上手に吸引保存するため | 8 |
| ご使用方法 | 9-10 |
| 各部の名称と機能 | 11 |
| お手入れ、保管、お困りの時に | 12 |
| こんなときには | 13-14 |

上手に吸引保存するために

吸引保存を行い、空気を取り除くことで、食材の栄養価値、風味、品質を損なう酸化を防止できます。また、真空状態にする事で、微生物の発生を防ぎます：

カビ - カビは酸素が少ない環境では発生にくいため、吸引保存をする事で発生を遅らせる事ができます。

イースト - 酵母は水分・糖分そして適度な温度が存在する環境で増殖します。冷蔵する事で酵母の増殖を遅らせる事ができ、冷凍する事で、完全に止める事ができます。

細菌 - 適した環境に食材が置かれると、匂いや味などで確認ができないボツリヌス菌のような菌が発生します。

安全に食材を保存するためには低温を維持することが重要です。4°C以下の環境であれば、微生物の発生を大幅に抑える事ができます。0°Cで冷凍保存する事で微生物は死滅しませんが、増殖をおさえます。腐敗しやすい食材の長期保存には、吸引密封された状態で冷凍保存し、解凍後は冷蔵庫にて保管してください。

真空保存は熱処理される缶詰の代わりとなる保存方法ではありません。また、劣化し始めた食材の鮮度を取り戻すことはできませんが遅らせる事はできます。食材の最高品質をどのくらい維持できるか予測する事は困難ですが、食材が吸引密封された時の状態（風味、見栄え、食感など）を維持します。

食品安全に関する注意：真空パックは冷蔵・冷凍保存の代替えではありません。腐食する生鮮食品は真空パック後、必ず冷蔵または冷凍保存してください。

ハードチーズ

チーズの鮮度を保つためには、使用後、毎回吸引密封してください。

注意：嫌気性菌の恐れがあるため、ソフトチーズは吸引密封できません。

焼き菓子など

柔らかくてふわふわした焼き菓子を保存する場合、形などと一緒に維持したいので、フードセーバー[®]真空フレッシュボックスのご利用をおすすめします。

ご使用方法

初めて使用する前に：

本製品を使用する前に、必ず最低24時間充電してからご使用ください。充電が不十分の場合、本製品の電池寿命が短くなる恐れがあります。本製品が電源に接続している間、充電お知らせランプは点灯し続けます。このランプは充電完了を知らせるランプではありません。

ポイント：電池の寿命を保つ為に、半年に一度、本機を24時間充電してください。

注：吸引キャップに液体が溜まった場合、直ちに吸引作業を停止し、キャップを取り外してください。キャップは空にし、洗って、乾かしてから元に戻してください。

フードセーバー®ジッパー・バッグを密封する

◆ステップ1

バッグに食材を入れ、閉じる

フードセーバー®ジッパー・バッグに食材を入れます。ジッパー・バッグは平らに、グレーの円が上向きになるように設置します。ジッパーの上に指を置き、横に滑らせてバッグを閉じてください。

◆ステップ2

ジッパー・バッグから空気を抜く

グレーの円の上にポータブルバキュームマシーンを設置し、空気が抜けるまで吸引ボタンを押し続けます。ボタンを離すと、吸引が停止します。

◆ステップ3

保管

食材が入っているジッパー・バッグを冷蔵庫にて保管してください。

フードセーバー®真空フレッシュボックスを密封する

◆ステップ1

食材を入れ、閉じる

フードセーバー®真空フレッシュボックスを平らなところに設置し、食材を入れます。ふたをして、両手でしっかりとおさえて閉めます。

◆ステップ2

ポータブルバキュームマシーンを接続する

真空フレッシュボックスのふたに付いている緑のバルブの三角△を右に回し『吸引・保管』に合わせます。ポータブルバキュームマシーンをバルブの上に乗せ、接続します。

◆ステップ3

空気を抜く

空気が抜けるまでポータブルバキュームマシーンの吸引ボタンを押し続けます。真空フレッシュボックスのふたに付いている緑の真空サインがへこんだ後、さらに10秒間、吸引ボタンを押し続けて下さい。

◆ステップ4

真空フレッシュボックスのふたを開ける

真空フレッシュボックスのふたに付いている緑のバルブの三角△を左に回し、『マリネ・開ける』に合わせ、ふたを開けて、お楽しみください！

フードセーバー®真空ボトルストッパー（別売）を使って密封する

◆ステップ1

真空ボトルストッパーを接続する

透明の吸引キャップを本体から取り外し、アクセサリーポートを使用する真空ボトルストッパーに接続します。

◆ステップ2

空気を抜く

空気が抜けるまで10-20秒間吸引ボタンを押します。

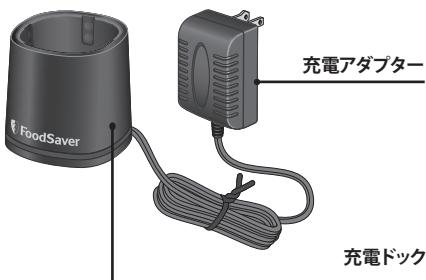
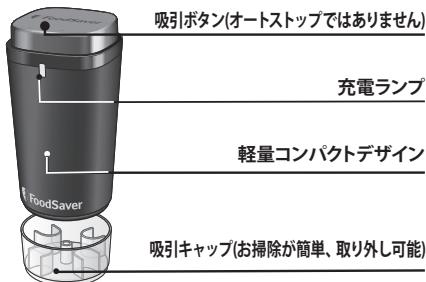
◆ステップ3

保管

飲料が入っているボトルを冷蔵庫にて保管してください。

各部の名称と機能

ポータブルバキュームマシーン 各部の名称と機能について説明します。



お手入れ、保管、お困りの時に

お手入れを始める前に必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

1. 絶対に水に浸けないでください。
2. クレンザーなどの研磨剤が配合されている洗剤やたわし等を使用してのお手入れはおやめください。これらの洗剤やたわし等は表面やゴムパッドを傷つける恐れがあります。
3. 中性洗剤とぬるま湯に浸して固く絞った柔らかい布で部品の周りや中についてしまったカスや汚れを拭き取ってください。
4. 使用後は汚れた吸引キャップを空にしてください。ぬるま湯と中性洗剤で洗い、完全に乾かしてから、本体に戻してください。

注:

吸引キャップの取り外し方: ポータブルバキュームマシーンを片手で持ち、もう片方の手で吸引キャップを引っ張り、本体から外します。

フードセーバー®真空フレッシュボックス

1. 真空フレッシュボックスとフタは食器洗浄機（上段のみ）で洗えます。また、ぬるま湯で薄めた中性洗剤を使用しても洗えます。この場合、必ずしっかりとお手入れください。吸引バルブとゴムパッキンはぬるま湯で薄めた中性洗剤で洗えます。洗浄後、しっかりと乾かしてください。
2. 電子レンジで食材の温め時ののみ、フードセーバー®真空フレッシュボックスをご利用いただけます。真空フレッシュボックスを使用しての電子レンジ調理はおやめください。

こんなときには

フードセーバー®使用時のトラブル対処方法について説明します。

吸引ボタンを押しても吸引が開始しません：

1. ポータブルバキュームマシーンが充電されていることをご確認ください。

吸引が開始されるが、ジッパー袋がしっかりと吸引されない：

1. ジッパーがしっかりと閉まっているか確認してください。ジッパー全体に指を滑らせて確認してください。
2. ジッパー袋の設置場所を変え、吸引バルブの下に食材がないことと、バルブが平らに置かれていることを再度確認してください。

吸引キャップと吸引バルブがしっかりと密着しない：

1. 吸引キャップがグレーの円の中心に置かれていることと、吸引バルブの真上に置かれていることを確認してください。適度な圧力をかけて抑えます。

一度吸引したのですが、ジッパー袋に再度空気が入ってしまいました：

1. ジッパーを確認してください。ジッパーやバルブに食材が付着していると漏れが生じ、空気が侵入してしまいます。
2. ジッパーの端やバルブの下に付着してしまった水分や食材が稀に吸引を妨げます。ジッパー袋の中のジッパー付近、バルブの下を拭き取り、再度吸引密封を試みてください。
3. 尖った食品などをパックした場合、袋に穴が空いてしまう可能性があります。穴が空いている場合は新しいジッパー袋にお取替えください。尖った食品はクッション材（ペーパータオル等）で一度つつみ、軽く吸引してください。

フードセーバー®真空フレッシュボックスは以下の場合吸引密封できません：

1. ふたの内側に設置されているパッキンにゴミやカスが付着していないことを確認してください。排気バルブを取り外し、ゴミなどが付着していないことを確認してください。使用後は定期的に吸引バルブをきれいに洗ってください。フタがしっかりと閉まっていることを確認してください。

■仕様

| | | | |
|------|---|-----|--------|
| 型 名 | ポータブルバキュームマシーン FS1190 (2000038454) / FS1191 (2000038455) | | |
| 電 源 | 100-240V~ 50/60Hz | 原産国 | 中国 |
| 消費電力 | 2.5W | 重 量 | 218.2g |
| 外形寸法 | 幅58.8mm x 奥行56.8mm x 高さ120mm | | |

お問い合わせ先

フードセーバーカスタマーサービスセンター 0120-36-2040 受付時間：平日 10:00 ~ 18:00 (祝日、年末年始を除く)

輸入元：コールマンジャパン株式会社 JCS 事業部
〒108-0023 東京都港区芝浦4-9-25 芝浦スクエアビル

© 2020 Sunbeam Products, Inc. All rights reserved. Distributed by Coleman Japan Co.,Ltd., 10/F, Shibaura Square Building, 4-9-25, Shibaura, Minato-ku Tokyo, 108-0023 Japan. One Year Limited Warranty - see inside for details.

FS1190-040_FS1191-040_20JUN1
GCDS-FSV-SL

PKG0001163056